

# 学校主体の財政教育プログラムの実践（佐賀大学附属中）

佐賀財務事務所では、若年層向けに日本の財政に興味を持ってもらい、自分事として考えてもらうために「財政教育プログラム」を実施しており、今回、佐賀大学教育学部附属中学校において、プログラムを実施しました。

- ・ 日時：令和3年12月14日（火曜日）3～6限目
- ・ 参加：佐賀大学教育学部附属中学校3年生 144名（各クラスで実施）

今回のプログラムは、学校が主体となって事前授業やボードゲーム形式の予算編成シミュレーションをグループワークで実施のうえ、グループの考えをまとめた後の「振り返り」授業に当所及び佐賀税務署職員が参加（意見交換）する形式とし、学校と外部機関による連携授業の理想形を求めた授業として実施しました。

また、対面とオンラインの機能を効果的に組み合わせたハイブリッド型授業として、各生徒へタブレットPCが配備されているICT環境を活用し、状況に応じたWeb検索や、終了間際に実施したオンラインアンケートを即座に集計・分析のうえ、改善事項を次のクラスの授業に反映するといった手法も取り入れています。

生徒へのアドバイス



意見交換：佐賀財務事務所・佐賀税務署職員が参加

